



学校だより さしきっこ 第5号

学校教育目標「ともに のびる さしきっこ」 ささえあい しんじてはばたけ きらめくみらいへ

令和7年度 2学期 始業式！

8月29日(金)に始業式を行いました。その中で、3年生2名の児童代表あいさつと校長の話をしました。



2学期校長の話とプレゼン

校長の話を要約すると、2学期に大切にしてほしいこととして、「考えて行動をすること」を伝え、その中で、特に生活面2つ・学習面1つのことについてお話をしました。

生活面は、「熱中症対策をしっかりやりましょう」、「言葉を大切にしま

しょう」のこの2点についてです。学習面は、「でっかい夢」ノートについてです。なりたい自分になるための大切な取り組みですから、具体的がんばっている児童のノートを提示してお話をしました。ぜひ、ご家庭でも取り組んでいるお子さんを褒めてあげてください。

がんばりノートを廃止して「夢ノート」にしたことで、様々なご意見をいただいています。子どもたちは、強制的にさせられている勉強によって勉強嫌いになり、本来の学びから逃げ出している状況があります。毎日、家庭学習をやらされ、提出しないと学校でしかられる(もちろん、すべての子が強制的にやらされているわけではありませんが)。がんばりノートを出さない子・やらない子は、周りの子たちから無意識の中でやらない子としてレッテルをはられます。学校は、そういったことから脱却したいのです。

「がんばりノートがなくなったから、『夢ノート』は自由でやらなくていい」と勘違いされている声をよく耳にします。そうではありません。強制的にやらされていることをやめて、自分の好きなことに自ら進んでチャレンジしていこうという取り組みなのです。また、学校からの宿題をなくしたわけでもありません(分量については、授業との連動や最低限の量で出すことを教職員で話し合っています)。

キャリア教育に絡めて進めていますが、目指したいことが決まっている子どもはそのことについて調べたり学んだりしています。例えば、「パティシエになりたい」→「ケーキの作り方を調べる」「実際に作る」などです。もちろん、まだ目指すべきものが決まっていない子もいます。そういった子は、例「お花が好き」→「花の名前や特徴調べ」「花言葉調べ」など取り組んでいます。もちろん、「夢ノート」に日ごろの課題、計算が苦手なら計算練習をすることでもよいのです。

一番、大事にしたいのは「子どもの意欲や自主性」なのです。これは、簡単にはいかないことですが、佐敷の子どもたちはできると思っていますし、実際にやっている子もいます。

小学校教育は、生涯学習の基礎を培うこと、生涯にわたって学習し続けるための基礎的な能力や、自ら学ぶ意欲・態度を育む上で非常に重要な役割を担っています。ですから、本校でも子どもが学び続ける意欲・態度・主体性を培っていきたいと考えています。

< 児童代表あいさつ >

2学期にがんばりたいこと 3年1組 伊禮結菜

私が、2学期にがんばりたいことは、勉強と運動会です。勉強では、漢字とかけ算のひっ算をがんばりたいです。漢字は、きれいにまちがえずに書けるようにしたいです。どちらも毎日練習して、しっかりできるようになりたいです。

運動会では、初めてのリレーをがんばりたいです。バトンをおとさないようにしっかりとぎって思いっきり走りたいです。走らないときは、大きな声でチームを応援して、みんなの力を合わせてがんばりたいです。

2学期は、もっとできることをふやしてがんばります！

2学期の目標

3年2組 山西智尋

私の2学期の目標は、2つあります。

1つ目は、漢字50問です。私は、1学期の時は漢字が苦手だったので2学期からは、いっぱい練習して、100点とりたいです。そして、ていねいに漢字を書きたいです。

2つ目は、計算ドリルです。私は、計算ドリルの中でも時刻と時間が苦手でした。でもいっぱい練習すると苦手だった時刻と時間もできるようになってきました。なので、2学期になっても自分の力で計算ドリルを終わらせてみたいです。だから、わからない時はいっぱい練習して、わからない問題もときたいです。

よろしくお願いします！



9月10日(水)から2年2組担任として、「松井 星南(まつい せな)」教諭が着任いたしました。どうぞ、よろしくお願いいたします。